



一般社団法人東京都ホッケー協会

2021年度 連絡会

2022.2.27

本日お話しさせていただくこと

1. ご挨拶 –2021年度を振り返って (和田会長)
2. 2021年度の活動報告 (各担当理事)
3. 中長期方針「TEAM TOKYO 2030」 (多氣理事)
組織改定案のご説明
大井存続に向けた施設活用のフォーメーション
4. 理事・監事の推薦および業務協力者のお願い

6月18日の大井再オープンによって、東京のホッケーは大きく変わります。

永続的な存続に繋がるよう皆様ご協力をお願いします。

1. ご挨拶 –2021年度を振り返って

会長：和田明仁

2018年11月 「一般社団法人東京都ホッケー協会」が発足

「コンプライアンスの実践、ガバナンスの強化、財務基盤の確立」

「規則に則り、会員全員参加で運営して行く開かれた協会」

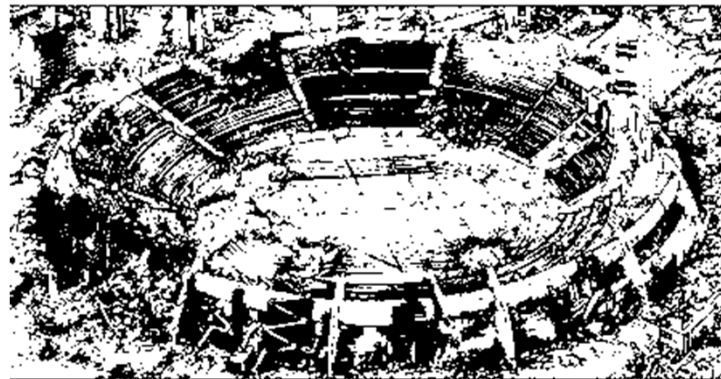
+ 「社会から信頼される協会」

(目標)

1. **競技人口を増やす**
2. **大きな大会を運営する**
3. **強いチームを作る**

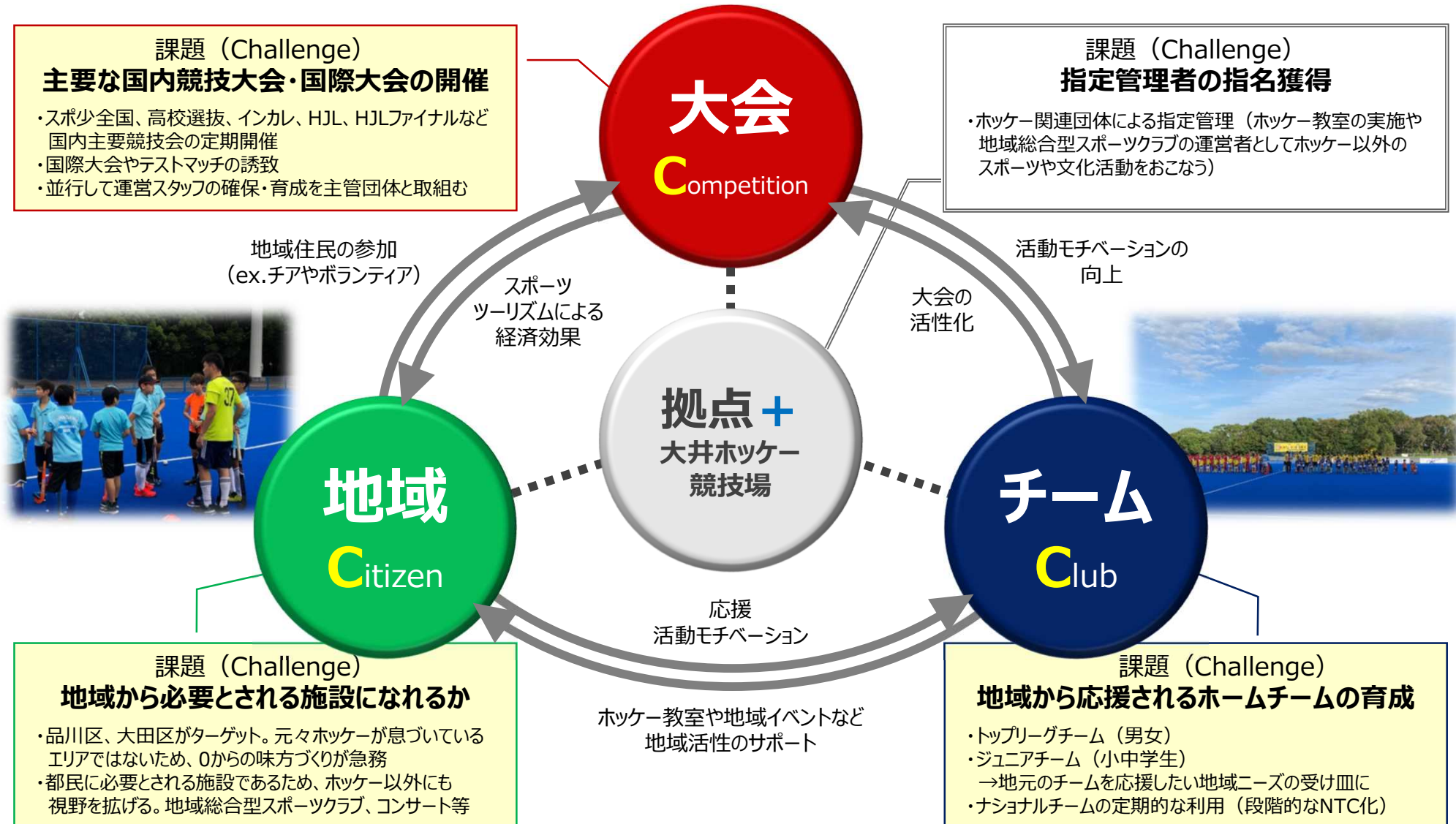
大井ホッケー競技場の存続は、ホッケー界全体の課題

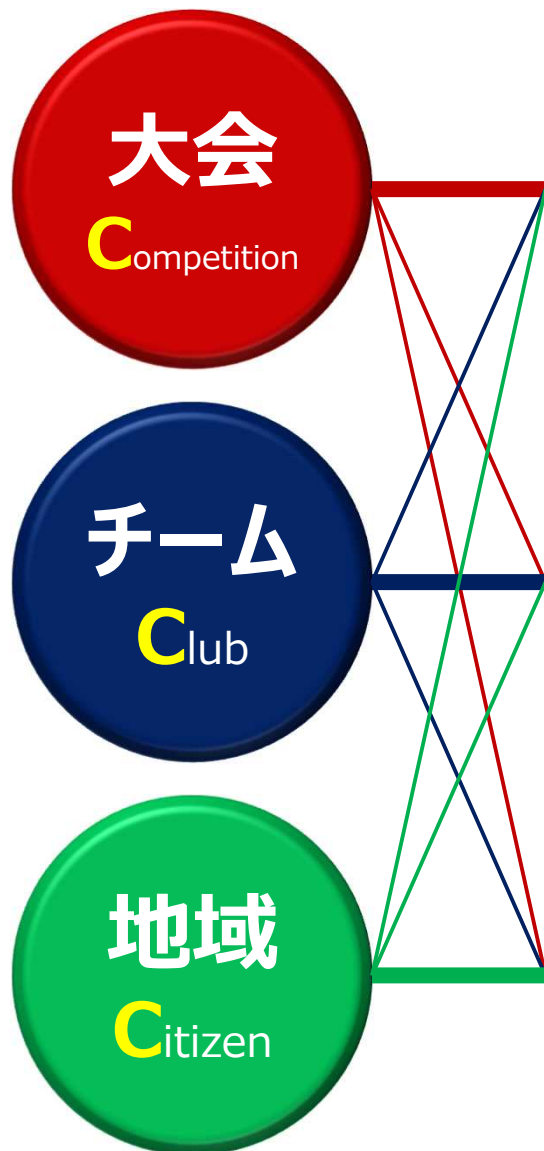
- ✓ 五輪終了後は一夜にして「無駄遣いの象徴」としてやり玉にあげられる覚悟
- ✓ 1964五輪のレガシーは遺らず。復活に半世紀超を費やす苦渋
- ✓ 大井が無くなれば、国際大会、全国大会は地方へUターン
- ✓ マスコミも遠のき、一般人がホッケーを見聞きすることはなくなり
- ✓ 唯一子どもが増えている東京にホッケーの渦が戻ってくることはありません



大井存続に向けた『3C+1』

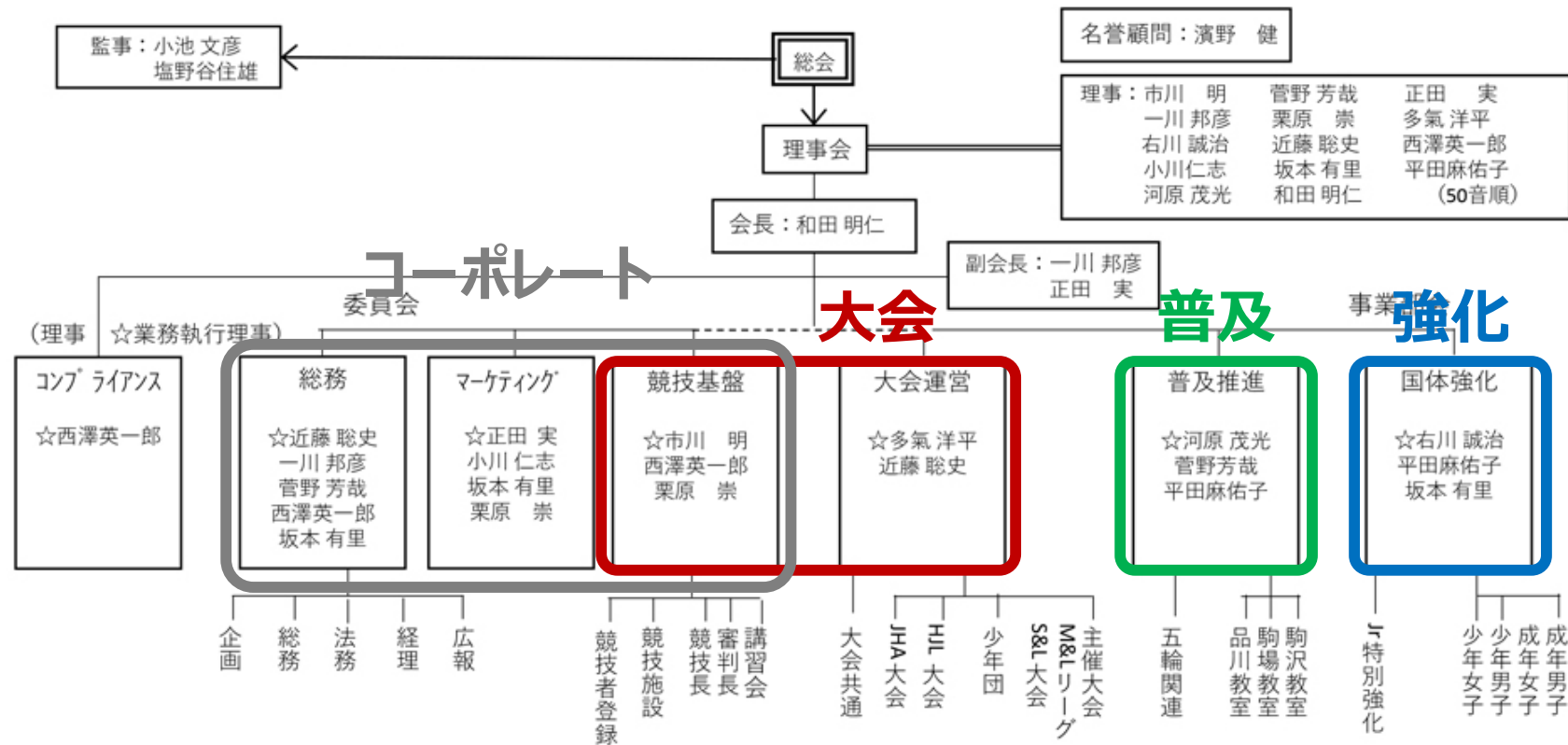
※（公社）日本ホッケー協会「大井存続プロジェクト」資料より





- 主管協会として、大会開催の成功
⇒全国規模の大会、国際大会の確実な遂行
- 応援される「東京都代表」チームの育成
⇒「ホーム」大井に観客を呼べるチームに
- ホッケー理解者を永続的に増やす活動
⇒品川/大田を核とした普及～ジュニアチーム

2021年度の業務体制 「3事業部会」



(業務内容)

国体、関東ブロック選手派遣
高校生ホッケークリニック
高校ウィンタースポーツ
都高体連との連携

その他各種行事・イベント
小・中学校体験教室
品川区・大田区スポーツ祭り
品川区・大田区ホッケー教室
マスターズ/レディーズリーグ
「体育の日」等イベント主催
シニア&レディーズ大会主催

大会運営マニュアル
スタッフ応募システム
T H A主催講習会開催
大井ホッケー場利用サービス
駒沢球場利用サービス
登録窓口

ホームページ作成・更新
会計・予算管理
規約・規定整備
会員連絡、庶務事項
理事会・総会事務局
新規案件窓口
新規企画・検討

コンプライアンス
ガバナンス強化
アンチドーピング
ハラスメント対策

2. 2021年度の活動報告

2-1. 2021年度活動報告 ～強化事業～

主担当：右川誠治

<主な活動内容>

1) 国体強化事業

(成年男子、成年女子、少年男子、少年女子)

2) ジュニア特別強化事業

(高校生、中学生、小学生)

※これらの活動原資は東京都の交付金事業によって賄われている。

3) その他

(オリンピック候補選手強化事業)

1) 国体強化事業 ～強化～

- 新型コロナウイルス感染防止により2年連続で国体本戦の中止または延期
- 三重国体 2021年度⇒中止

鹿児島国体 2020年度⇒2023年度へ

これに伴って関東ブロック大会も中止となった。昨年度は早い段階で国体延期が決まり、今年度は関ブロ直前での中止決定となった。

昨年度は大きく活動を制限された少年種別（高校生）は、今年度は国体選抜チームとして関ブロ直前まで活動を行った。

成年種別（社会人と大学生）も関ブロまで精力的に活動を行った。

1) 国体成年男子 ～強化～

<2021年度> 強化活動・・・4回実施

- ・活動期間は関東ブロック（8月末）まで
- ・選手はメトロ東京、東京ガスなどの社会人や関東1部上位校を中心に各チームから選抜した。チーム戦術などの共通認識を深め、2022年度に繋がる活動を行った。

<2022年度>

- ・6月中旬まで選考を行い、7月以降選抜チームとして集中的に活動し関東ブロック大会（8月19-22、大井）で優勝を目指す。

1) 国体成年男子 ～強化～



1) 国体成年女子 ～強化～

<2021年度> 強化活動・・・4回実施

- ・活動期間は関東ブロック（8月末）まで
- ・東京ヴェルディの選手を中心に大学生も参加

<2022年度>

- ・2021同様に東京ヴェルディ中心に各大学からの選手も集う。
代表選手や元オリンピックも参加予定。6月中旬まで選考を行い、8月の関東ブロック大会で優勝を目指す。

1) 国体成年女子 ～強化～



1) 国体少年男子、少年女子 ～強化～

<2021年度> 少年男子5回、少年女子8回の活動を実施
都内各高校から選拔し、関東ブロック直前まで精力的に
活動を行った。

<2022年度>

大井グラウンドの利用が増え、活動機会を増やすことで
強化を図る。男女ともに関東ブロックでの初戦突破を目指す。

1) 国体少年男子 ～強化～



1) 国体少年女子 ～強化～



2) ジュニア特別強化事業 ～強化～

<高校生>

- 2021年度はコロナ禍で高校生のクリニックやワンデー大会など例年行っている活動がほとんど出来なかった。

(12月12日に中学高校男女のクリニック各1回のみ)

※ワンデー大会は3月末に延期して実施の予定

<小中学生>

- 小中学生対象の駒沢でのジュニア強化活動は7回を数え、昨年に続き東京でのホッケーの裾野を広げる大きな成果であった。

3) その他交付金事業 ～強化～

- 3-① オリンピック候補選手強化事業
中山正暉 慶応義塾大学 U-21代表
住吉七陸 品川HC2020
- 3-② グローバル指導者育成事業
元日本代表男子ヘッドコーチ・アイクマン氏を
招いての指導者育成事業
・・・コロナ禍で入国規制などで計画断念

2022年度の強化事業について

<国体強化事業>

- ・ 国体関東ブロック大会 8月19-22日（大井）
- ・ とちぎ国体10月2日-6日（日光市）

<ジュニア特別強化事業>

高校生クリニックを開催予定（年5回程度）

高校生ワンデー大会開催予定（2月）

駒沢ジュニア強化活動定期開催予定（10回程度）

他、オリンピック候補選手強化事業の継続

グローバル指導者育成事業の活用

2-2. 2021年度活動報告 ～普及事業～

担当：河原茂光、菅野芳哉

THAの普及事業は、実施主体、財源等によって3つに分類されます。

1. 自治体等の主催事業をTHAが受託して行うもの
→品川区ホッケー教室、U-10品川カップ、杉並区チャレンジアスリート
JHA夢みるホッケー教室 など
2. THAが主催し、都体協の助成金で実施するもの
→駒沢ホッケー教室、駒場ジュニアホッケー教室※20～21年度は休止
3. THAが主催し、totoのくじ助成金を活用して実施するもの（新規）
→おおたホッケー教室、世田谷ホッケー教室

2021年度普及事業について(品川区)

オリンピック開催年ということで、品川区は「みんなでホッケーを応援しよう！」ということでいくつかのホッケーイベントが計画されましたが、コロナ緊急事態宣言が発令され、多くのイベントは中止となりましたが、6月12日はしながわ中央公園で「フリース東京」「東京ヴェルディ」の両チームが指導者となり、80名参加のホッケー教室を開催し大いに盛り上がりました。

オリンピックが終わった後の10月9日、11月13日にも同規模の「ホッケー教室」を開催、後者はサムライJAPAN北里選手、さくらJAPAN瀬川両選手が指導に来て貰いました。11月からは、品川区内の小学3・4年生対象(男女各10名選出)に「U-10ホッケー品川カップ」という8回の練習と最終回（3月6日予定）には他クラブとの交流試合を行うイベントがスタートしました。

2021年度普及事業について（その他）

杉並区スポーツ推進課より、杉並区の子どもたちが広くスポーツに親しみ、スポーツへの夢を抱き、競技を極めオリンピック・パラリンピックを目指す可能性や、スポーツ栄養士等のスポーツ関係の職種やスポーツボランティア等を目指す可能性など、スポーツを取り巻く多様な可能性に気づく機会を提供し、タレント発掘（選手育成）にとどまらないスポーツによる次世代育成事業を行いたいと、1月23日「ホッケー」が取り上げられ、さくらJAPAN真野選手を講師に招き、約40名の小中学生を指導した。

toto助成金を利用したTHA主催のホッケー教室を1月スタート。

大田区・羽田にあるフットサルコートを利用し、指導は「東京ヴェルディ」に依頼。
まだ参加者少なく苦戦中。

品川区・JHA・THAの三者による協定を締結（3月の予定）

オフィシャル社会共創パートナーとして、「ホッケータウン品川」を盛り立てていく。

委託事業は品川区からの事業が期待されている。

THA主催のホッケー教室は、品川、大田、駒沢、駒場などを予定している。

（東京都体育協会ジュニア育成費ならびにtotoくじ助成金を活用予定）

JSPOのコーチ制度がスタートコーチからコーチ4まで5段階に設定され、

THAでは公認コーチ2をJHA指導の下、実施予定です。

2-3. 2021年度活動報告 ～大会事業～

a. 競技基盤委員会

主担当：市川明

1) チーム登録状況

種別	チーム数	種別	チーム数	
高校男子	4	高校女子	2	
大学男子	15	大学女子	11	
一般男子	20	一般女子	3	
マスタース男子	3	中学女子	1	合計
少年団男子	3	少年団女子	3	65
新規: 中学女子1(品川翔英)				
休会: 一般男子2(丸紅、一橋クラブ)、高校女子1(品川翔英)				

2) 選手・スタッフ登録状況

種別	選手	前年	増減	スタッフ	前年	増減	合計	増減	種別	選手	前年	増減	スタッフ	前年	増減	合計	増減		
高校男子	102	107	▲ 5	34	29	5	136	0	高校女子	73	58	15	16	17	▲ 1	89	14		
大学男子	350	360	▲ 10	193	150	43	543	33	大学女子	218	211	7	119	100	19	337	26		
一般男子	414	453	▲ 39	35	26	9	449	▲ 30	一般女子	61	35	26	14	8	6	75	32		
マスターズ 男子	100	60	40	9	5	4	109	44	少年団女子	87	2	85	6	2	4	93	89		
少年団男子	94	2	92	7	3	4	101	96	中学女子	7	0	7	2	0	2	9	9		
マスターズ (個人)	12	0	12	1	0	1	13	13	国体少年	0	0	0	5	0	5	5	5	合計	増減
日本リーグ (個人)		1	▲ 1		0	0	0	▲ 1	国体成年	0	0	0	2	0	2	2	2	1,961	332

一般男子は休会2チーム分の選手減。一般女子はメトロmixの登録増、マスターズ男子は活動増に伴う登録増。高校・大学男女は前年並みを維持、少年団は活動再開で選手登録増。

3) 競技役員登録状況

種別	資格保有者数		種別	資格保有者数	
	本年	前年		本年	前年
国際審判	3	3	テクニカルデリゲート	3	3
A級審判	5	5	テクニカルオフィサー	6	5
B級審判	12	13	ジャッジ	16	23
C級審判	11	15			
D級審判	24	82			
うち新規取得者	(6)	(43)		合計	
アンパイアマネージャー	3	3		本年	前年
定年者	0	1		71	142
・資格保有者数は重複保有者を含めた延べ人数					
・学連D級審判資格新規取得者減					
・今期昇格者:UM取得1名、TO昇格2名					

4) 資格取得講習会等開催状況

①D級審判認定講習会

THAカップおよびマスタース/レディースリーグ参加チームを対象に21年10月に開催。7名が新たにD級審判員として認定された。

②ジャッジ認定講習会

マスタース/レディースリーグ参加チーム及び競技役員推薦者を対象に22年1月に開催。8名が新たにジャッジとして認定された。

※登録は22年度扱い

③その他講習会

公認コーチ1 養成講習会

21年度開催を企画するも受講希望者が定数に満たず開催中止となった。22年度に改めて開催を企画するものとする。

- ・各種講習会の実施

大井ホッケー場開場に伴い、全国大会、自主開催大会の開催増・試合増が確実な為、引続き資格取得の講習会を積極的に開催します。

- ・2022年度会場手配/運用ルール化

大井ホッケー競技場2面（ノース・サウスピッチ）が6月中旬以降利用可能となることから、早急に運用基準を策定する。

2-3. 2021年度活動報告 ～大会事業～

b. 大会企画/運営

主担当：多氣洋平

2021年度は、前年と異なり駒沢のみの運用となり、全国大会クラスの大会はありませんでした。コロナの影響で4～5月、8月、1～2月の大会の一部が中止又は延期となりましたが、概ね計画通り開催できました。THA主催大会としては、前年度未消化のマスタース/レディースリーグを4～6月に実施。

社会人リーグの代替として2度目の開催となった、THAカップを9～11月に実施。4シーズン目となるマスタース/レディースリーグは12月から3月まで開催予定です。この状況下、いつもご協力くださる皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。THAチームの活動動機となる大会を継続し、大井を余すことなく活用できるよう新しい大会を企画していきますので、引き続きよろしくお願いします。

2021年4～7月の大会実績

4月				5月				6月				7月			
日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢
1	木			1	土			1	火			1	木		
2	金			2	日			2	水			2	金		
3	土			3	月			3	木			3	土	THA	MLリーグ⑤了 国体
4	日			4	火		THA MLリーグ⑤ 学連 新歓イベント THA 教室②	4	金			4	日		
5	月			5	水			5	土			5	月		
6	火			6	木			6	日	THA	MLリーグ、国体	6	火		
7	水			7	金			7	月			7	水		
8	木			8	土	高体連	都総体	8	火			8	木		
9	金			9	日	高体連	都総体	9	水			9	金	学生王座 全日本	
10	土	THA	MLリーグ③	10	月			10	木			10	土		
11	日			11	火			11	金			11	日	THA	国体、教室④
12	月			12	水			12	土			12	月		
13	火			13	木			13	日	THA	国体、教室③	13	火		
14	水			14	金			14	月			14	水		
15	木			15	土			15	火			15	木		
16	金			16	日			16	水			16	金		
17	土	THA	国体、教室①	17	月			17	木			17	土		
18	日			18	火			18	金			18	日		
19	月			19	水			19	土	THA	MLリーグ⑥	19	月		
20	火			20	木			20	日			20	火		
21	水			21	金			21	月			21	水		
22	木			22	土			22	火			22	木		
23	金			23	日			23	水			23	金		
24	土	THA	MLリーグ④	24	月			24	木	学生王座 全日本		24	土	東京2020オリンピック	
25	日	THA	高校生東京神奈川	25	火			25	金			25	日		
26	月			26	水			26	土			26	月		
27	火			27	木			27	日	THA	MLリーグ⑤ ジュニア利用	27	火		
28	水			28	金			28	月			28	水		
29	木			29	土			29	火			29	木		
30	金			30	日			30	水			30	金		
				31	月							31	土		

2021年8～11月の大会実績

8月				9月				10月				11月			
日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢
1	日	東京2020オリンピック		1	水			1	金	国体三重		1	月	インカレ岐阜	
2	月			2	木			2	土		THA	2	火		
3	火			3	金			3	日		THA	3	水		THA杯⑤ 学生L
4	水			4	土	全日本マスターズ北海道	学連 学生L	4	月			4	木		
5	木			5	日			5	火			5	金		
6	金			6	月			6	水			6	土	全中11人	学連 学生L
7	土			7	火			7	木			7	日		THA杯⑥
8	日			8	水			8	金			8	月		
9	月			9	木			9	土			9	火		
10	火			10	金			10	日	公園	スポーツの日	10	水		
11	水			11	土			11	月			11	木		
12	木			12	日			12	火			12	金		
13	金	スホ少全国14-16		13	月			13	水			13	土	THA	THA杯⑦
14	土			14	火			14	木			14	日	THA	コーチ1研修
15	日		THA 国体強化	15	水			15	金			15	月		
16	月	インハイ富山14-18		16	木			16	土			16	火		
17	火			17	金			17	日			17	水		
18	水			18	土	全日本社会人栃木		18	月			18	木		
19	木			19	日			19	火			19	金		
20	金			20	月			20	水			20	土		
21	土	全中埼玉		21	火			21	木			21	日	○	早慶戦
22	日			22	水			22	金			22	月		
23	月			23	木		THA THA杯①、教室⑤	23	土			23	火		
24	火			24	金			24	日			24	水		
25	水			25	土		高体連 都選抜予選	25	月			25	木		
26	木			26	日		高体連 都選抜予選	26	火			26	金		
27	金			27	月			27	水			27	土	THA	THA杯⑧了 教室⑦
28	土	国体予選		28	火			28	木			28	日		
29	日		THA マスターズ、ジュニア	29	水			29	金			29	月		
30	月			30	木			30	土		THA THA杯③、教室⑥	30	火		
31	火							31	日		THA THA杯④				

2021年12月～2022年3月の大会

12月				2022年1月				2月				3月			
日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢	日	曜	行事	駒沢
1	水	全日本選手権		1	土			1	火			1	火		
2	木			2	日			2	水			2	水		
3	金			3	月			3	木			3	木		
4	土			4	火			4	金			4	金		
5	日			5	水			5	土	THA	MLリーグ④	5	土		
6	月			6	木			6	日	高体連	高校ウィンターカップ	6	日		
7	火			7	金			7	月			7	月		
8	水			8	土			8	火			8	火		
9	木			9	日		THA MLリーグ②	9	水			9	水		
10	金			10	月			10	木			10	木		
11	土			11	火			11	金			11	金		
12	日		THA 高校生安全講習男教室⑧	12	水			12	土			12	土	THA	MLリーグ⑦了
13	月			13	木			13	日	THA	MLリーグ⑤教室⑨了	13	日		
14	火			14	金			14	月			14	月		
15	水			15	土			15	火			15	火		
16	木			16	日			16	水			16	水		
17	金			17	月			17	木			17	木		
18	土			18	火			18	金			18	金		
19	日		THA マスターズ/レディースリーグ①	19	水			19	土			19	土		
20	月			20	木			20	日			20	日		
21	火			21	金			21	月			21	月	THA	ジュニア交流大会
22	水			22	土		THA MLリーグ③	22	火			22	火		
23	木	校選抜		23	日			23	水	THA	MLリーグ⑥	23	水		
24	金			24	月			24	木			24	木		
25	土			25	火			25	金			25	金		
26	日			26	水			26	土			26	土	高体連	高校ウィンターカップ
27	月			27	木			27	日			27	日	高体連	高校ウィンターカップ
28	火			28	金			28	月			28	月		
29	水			29	土							29	火		
30	木			30	日		高体連 THA 高校ウィンターカップ 高校生安全講習女					30	水		
31	金			31	月							31	木		

2022年度の大会計画（強化、普及連携）

大会事業部

国際大会サポート、全国大会主管
ナショナルチームサポート、地域連携
社会人リーグ、学生リーグ、高校生大会
THAチャレンジマッチ、Weekdayマッチ

ジュニア強化教室
Tokyo Bay杯
国体ブロック大会

大井、駒沢ホッケー教室
THA杯、MLリーグ
S&L大会

小中学生大会
スポーツの日イベント

国体4チーム強化、合宿
国体参加

高校生安全講習会
クリニック

大井、駒沢以外での
体験会（学校、地域イベント）

強化事業部

普及事業部

2 -4. 2021年度活動報告 ～マーケティング委員会～

主担当：正田実

	2019年	2020年	2021年
	個人賛助会員		
会員数	10	34	35
会費納入者数	10	33	26
納入口数	12	39	33
納入会費	60,000	195,000	165,000
	団体賛助会員		
会員数	2	3	4
会費納入者数	2	3	4
納入口数	4	8	9
納入会費	200,000	400,000	450,000
会費合計	260,000円	595,000円	615,000円

賛助会員制度が発足して3年が経過しました。

現在の会員数は個人賛助会員35名、団体賛助会員4団体となっています。

コロナ禍の影響で賛助会員についてPRする機会も激減し会員数は伸び悩んでいます。

一方で別表のとおり会費を納入いただけないケースも散見されます。

本件については当方の取り組みに反省すべきことも多いと思います。

会員に対する情報提供、PR活動等が十分に出来ていなかったことも事実です。

今後は定期的な情報提供を通じて、東京都ホッケー協会の活動を会員の皆様によりご理解いただけるように努めて参ります。

2-5. 2021年度活動報告 ～収支について～

主担当：一川邦彦

2020～2022年度THA決算・予算推移

事業名 種別			2020年度決算			2021年度見込み			2022年度予算(THA事業のみ)			2022年度予算(変動要素込み) 国体本選出場、グローバル実施 JHA大会、HJL大会の受託織込		
			収入	支出	収支差	収入	支出	収支差	収入	支出	収支差	収入	支出	収支差
国体強化	予選会	交付金			0	110	115	-5	100	200	-100	100	200	-100
	国体強化	交付金	1,309	1,309	0	1,400	1,400	0	1,500	2,000	-500	1,500	2,000	-500
	ジュニア特別	交付金	766	832	-66	1,346	1,346	0	2,500	2,500	0	2,500	2,500	0
	関ブロ派遣	交付金			0	0	18	-18	1,800	2,200	-400	1,800	2,200	-400
	本戦派遣	交付金			0			0			0	2,000	3,000	-1,000
	五輪強化	交付金	273	273	0	235	275	-40	600	600	0	600	600	0
	グローバル	交付金			0	0	0	0			0	3,000	3,000	0
計			2,348	2,414	-66	3,091	3,154	-63	6,500	7,500	-1,000	11,500	13,500	-2,000
普及推進	ジュニア育成	交付金	660	660	0	715	715	0	1,500	1,500	0	1,500	1,500	0
	おた教室、他	補助金				450	450	0	2,000	2,500	-500	2,000	2,500	-500
	品川教室、他	受託事業	1,125	565	560	985	545	440	1,200	600	600	1,200	600	600
	品川カップ	受託事業			0	973	550	423	1,000	500	500	1,000	500	500
	コーチ1研修会	交付金	609	609	0		4	-4			0			0
計			2,394	1,834	560	3,123	2,264	859	5,700	5,100	600	5,700	5,100	600
大会運営	JHA大会	業務受託			0			0			0	40,000	41,300	-1,300
	HJL大会	業務受託	2,524	2,849	-325			0			0	20,000	20,700	-700
	駒沢スポーツの日	受託事業	500	540	-40	500	505	-5	500	500	0	500	500	0
	THA杯	自主事業	820	526	294	690	628	62	2,150	2,200	-50	2,150	2,200	-50
	M&Lリーグ	自主事業			0	1,200	1,100	100	1,550	1,600	-50	1,550	1,600	-50
	S&L、他	自主事業	862	959	-97	200	137	63	1,900	1,900	0	1,900	1,900	0
	weekday大会	自主事業	1,240	798	442			0	1,750	1,800	-50	1,750	1,800	-50
計			5,946	5,672	274	2,590	2,370	220	7,850	8,000	-150	67,850	70,000	-2,150
競技基盤			1,462	1,379	83	200	240	-40	4,100	4,000	100	4,100	4,000	100
法人	正会員費－法人経費		1,890	1,888	2	1,860	1,800	60	1,950	1,700	250	1,950	1,700	250
	雑収益－法人幹部給与、等									1,800			1,800	
	賛助会費、他		576	0	576	610	0	610	2,000	0	2,000	2,000	0	2,000
計			2,466	1,888	578	2,470	1,800	670	3,950	3,500	450	3,950	3,500	450
合計			14,616	13,187	1,429	11,474	9,828	1,646	28,100	28,100	0	93,100	96,100	-3,000

2022年度THA予算案

事業名			種別		2022年度予算								備考		
					収入		支出					収支差			
							諸謝金	大会 運営費	施設 利用料	消耗品 費、他	計				変動要素
国体強化	予選会	交付金	100		200				200		▲ 100	0	他県開催時の派遣費実績を織込み。		
	国体強化	交付金	1,500					2,000		▲ 500	0				
	ジュニア特別	交付金	2,500		1,300	1,200	1,400	600	2,500		0	0			
	関ブロ派遣	交付金	1,800					2,200	2,200		▲ 400	0			
	本戦派遣	交付金		2,000						3,000	▲ 1,000				
	五輪強化	交付金	600					600	600		0	0			
	グローバル	交付金		3,000						3,000		0			
	計			6,500	5,000	1,500	1,200	1,400	3,400	7,500	6,000	▲ 1,000	▲ 1,000		
普及推進	ジュニア育成	交付金	1,500		1,100		300	100	1,500		0	0	収入として「くじ助成金」を充てている。		
	おおた教室、他	補助金	2,000		1,000		1,100	400	2,500		▲ 500	0			
	品川教室、他	受託事業	1,200		600				600		600				
	品川カップ	受託事業	1,000		500		0		500		500	0			
	コーチ1研修会	交付金													
	計			5,700	0	3,200	0	1,400	500	5,100	0	600	0		
大会運営	JHA大会	業務受託		40,000			(8,000)			41,300	0	▲ 1,300	THAに赤字の残らない枠組みを検討する。 全上 大井ホッケー場からも開催要請あり。		
	HJL大会	業務受託		20,000			(5,200)			20,700	0	▲ 700			
	駒沢スポーツの日	受託事業	500		300	100		100	500		0				
	THA杯	自主事業	2,150		300	2,300	3,000		2,200		▲ 50	0			
	M&Lリーグ	自主事業	1,550						1,600		▲ 50	0			
	S&L、他	自主事業	1,900						1,900		0	0			
	weekday大会	自主事業	1,750		200		1,600		1,800		▲ 50	0			
	計			7,850	60,000	800	2,400	4,600	0	8,000	62,000	▲ 150	▲ 2,000		
競技基盤			4,100				4,000		4,000		100				
法人	正会員費－法人経費		1,950					1,700	1,700		250	0	業務執行幹部に対する対価の支払い 賛助会費を少なくとも200万円集める。		
	雑収益－法人幹部給与、等				1,800				1,800		▲ 1,800	0			
	賛助会費、他		2,000						0		2,000	0			
	計			3,950	0	1,800	0	0	1,700	3,500	0	450		0	
合計			28,100	65,000	7,300	3,600	11,400	5,600	28,100	68,000	0	▲ 3,000	不測の事態に対しては繰越金から支出する。		

3. 中長期方針 ～2030年に向けたTHAの取組みについて～

スポーツを取り巻く環境変化 I

「スポーツ立国戦略」（文部科学省 2010年8月）：「する人、見る人、支える人」

「第2期スポーツ基本計画」（スポーツ庁 2017年4月）

国民がスポーツで



具体的な施策



- スポーツツーリズムの推進
- 地域スポーツコミッションの拡大
- スポーツ×文化×観光の取組奨励
- スポーツによる地域の一体感の醸成
- スポーツ関連組織の収益モデルの調査と普及

スポーツで「社会の課題」解決に貢献する

→医療費抑制、働き方改革、地方創生
共生社会、健康長寿社会の実現、
経済/地域の活性化

スポーツ・インテグリティ (誠実性・健全性・高潔性)

スポーツに関する不正の防止

- ドーピング
- 八百長
- 違法賭博
- 暴力
- ハラスメント
- 差別
- 団体ガバナンスの欠如 等

「東京オリンピック」と「コロナ」が日本スポーツの大きな節目

スポーツを取り巻く環境変化 II

スポーツの価値を毀損しかねない不祥事の発生を防ぎ、また、スポーツの価値を一層高めていくため、スポーツの普及・振興の重要な担い手となっているスポーツ団体の適正なガバナンスを確保することが必要不可欠（スポーツ庁 2019年6月）

スポーツ団体ガバナンスコード

<中央競技団体向け>

令和元年 6 月 10 日



◎ガバナンスコードの一例

外部理事の目標割合（25%以上）及び
女性理事の目標割合（40%以上）を設定するとともに、
その達成に向けた具体的な方策を講じること

理事会を適正な規模とし、実効性の確保を図ること

独立した諮問委員会として役員候補者選考委員会を
設置し、構成員に有識者を配置すること

地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの
強化等に係る指導、助言及び支援を行うべきである。

JHA中長期方針「Road to 2030.」

世界中のメガスポーツがコロナ禍において曲がり角をむかえている
観客動員数に対する制限や、人々のマインドセットの変化。「ロス五輪モデル」の負の部分が露呈

メガスポーツ vs. マイナースポーツ？

日本におけるホッケー競技のように、競技人口が多くない・競技自体の知名度が高くないスポーツは、サッカーやプロ野球・バスケットボールのようなメガスポーツが志向している方向性を追いかけることが正しいのか？
ロス五輪モデル（権利の商品化）の土俵では戦いきれない（レッドオーシャン）

我々はホッケーを通じて、スポーツが持つ別の価値観にも光を当てることが使命なのではないか
スポーツには本来的にはもっと多面的な価値があるはず = 競技者・競技関係者だけのものではない
マイナースポーツこそ、スポーツをすることや、場（コミュニティ）を楽しむといった『社会性』に光を当てるのが出来るのではないか。日本のホッケーは、まだ誰も取り組んでいないブルーオーシャンで存在感を示す

2030年ホッケーWCの招致・開催はメガイベント追及モデルではない。『**社会共創**』の**実現・成果の場**として考える

競技軸から離れた視点でのアプローチ
競技を知らない人が来ても楽しいという仕掛けやサービスの作り方
人を呼べれば、結果としてホッケー競技の魅力が伝わる
社会課題の解決に向けて、本気で取り組んでみる

スポーツというツールを使って『未来のヒトを育て、新しい社会』を創る。

マイナースポーツならではの「地域密着」という強み（日本ホッケーの財産）が活きるのでは

JAPAN HOCKEY Road to 2030.

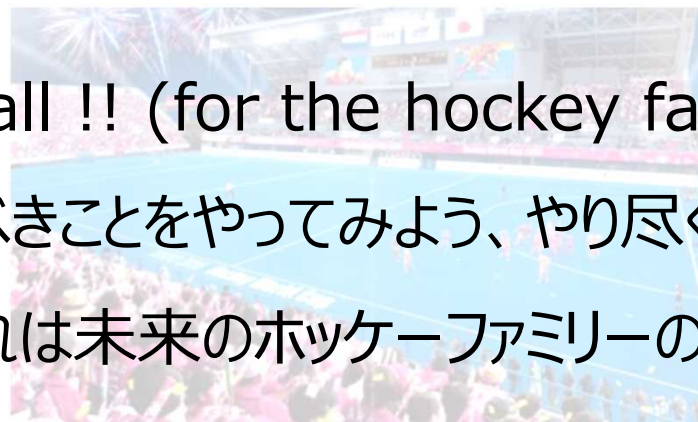


- 2030年にワールドカップを日本で開催する
- 2030年のW杯で男女共にメダルを獲得
- 2030年のW杯で20万人の観客動員
- ホッケーファミリー20万人
- 競技の知名度Top20以内 など

Try all !! (for the hockey family)

全力で全員でやるべきことをやってみよう、やり尽くそう、挑戦あるのみ。

それは未来のホッケーファミリーのため



東京都) 大井ホッケー競技場の戦略的活用

ホッケー2面の存続は確約されたものではありませんが、ホッケーの競技力向上、
多目的利用（ラクロスやサッカーなど）、地域との連携が方針として掲げられています。



TOKYOスポーツレガシービジョン

2022年1月21日

東京都



1 都立スポーツ施設の戦略的活用

アスリートや競技団体から高い評価を得た大会施設。トップレベルの試合に触れ、都民に親しまれるスポーツの拠点が誕生。



1 都立スポーツ施設の戦略的活用

各施設の特性を活かし、多様な活用を推進

大会を契機に整備された最新の国際水準の設備を有する新規恒久施設、伝統ある競技大会の開催などにより長年都民に親しまれてきた既存のスポーツ施設、それぞれの特性を活かし、多様な活用を推進していく

夢の島公園アーチェリー場

広大な芝生広場を活かし、アーチェリーでの利用を推進するとともに、多目的な活用を図るなど、夢の島公園と一体となって都民の憩いの場を提供していく

- 大会等を通じたアーチェリーの競技力の向上
(国内大会の誘致、アーチェリー体験教室の開催など)
- 多様なスポーツでの利用拡大
(フーメラン、フライングディスクなど)
- 都民の憩いの場としての利用
(地域住民の交流の場としての開放)
- 芝生広場での各種イベント誘致
(グルメイベント、ランニングイベントなど)



©Tokyo 2020 / Meg Ohnami



©Tokyo 2020 / Kenta Harada

海の森水上競技場

アジア最高峰の国際競技場として、水上スポーツの拠点とするとともに、広大な陸上エリアや東京湾のダイナミックな景観を活かしたユニークベニューとして活用していく

- 競技大会や合宿を通じたアスリートの強化・育成
(国内外の大会誘致、強化合宿の受入など)
- 国内競技の強化拠点化
(アスリート育成の拠点化に向けた検討)
- 水上スポーツ等の機会の提供
(水上レジャー、アウトドア体験など)
- ユニークベニュー利用の促進
(ロケ地利用、企業研修、レセプションなど)
- 地域と連携したスポーツの場の提供
(総合型地域スポーツクラブの検討など)
- 隣接する公園との連携による利用促進
(音楽イベント、キャンプなど)



- 取組① スポーツでの更なる活用
- 取組② 多様な活用による新たな体験の提供
- 取組③ 施設・地域との連携

大井ふ頭中央海浜公園 ホッケー競技場

国際水準のホッケー場として、競技力強化や普及・振興の場とするとともに、多目的球技場として、様々なスポーツやレクリエーションの総合的な拠点にしてい

- 競技大会や合宿等によるホッケーの競技力向上
(各種大会や強化合宿の誘致、ホッケー教室の開催など)
- 多様なスポーツを楽しむ場
(ラクロス、サッカー、アメフトなど)
- スポーツ、レクリエーション利用の拡大
(フットサル、タッチラグビーなど)
- 周辺施設や地域住民との連携
(スポーツツーリズム、ボランティア活用など)



©Tokyo 2020 / Meg Ohnami



“社会共創パートナー” 品川区との取り組み

- ・2015年より品川区の全公立小中学校でホッケー授業を実施
- ・品川区ホッケー教室、地域イベントでのホッケー体験
- ・「品川ホッケーファンゾーン企画」各種実施
- ・東京都初のホッケージュニアチームが品川区に誕生
- ・品川区を拠点とする日本リーグチームが誕生



2022年3月 品川区とJHA & TJAで社会共創パートナー協定を締結予定

五輪後も地域の課題解決のためホッケーを活用してもらう礎に。

ホッケーファミリーの拡大と地域共生による、
将来世代への五輪レガシーの継承

「TEAM TOKYO 2030」

◎ 競技力：「応援してくれる」ホッケーファミリーの拡大。ナショナルチームの競技力アップに貢献

2030年競技目標：国体成年男女優勝、国体少年男女本選出場、中学生ベスト8

国体チーム強化、中学生（高校生）年代の競技継続&強化

◎ 普及：「する」ホッケーファミリーの拡大と交流。すそ野の拡大は長期的な競技力向上に資する

2030年普及目標：THA登録100チーム（2021年：67チーム）

既存チーム活動活性→THA主催大会の拡充 新規育成（重点カテゴリー）→ジュニア、マスターズ、一般女子

◎ 地域共生：まちづくり×ホッケー。「地域」ホッケーファミリーの拡大。ホッケーの社会価値向上

2030年地域目標：2030W杯東京招致&開催 観客10万人、国際/国内主要大会の開催と年7.5万人OHS利用

大会の地域イベント化。「競技会」の遂行、競技役員育成。地域課題解決（防災、青少年育成、文化イベント、他競技 etc.）

+ 組織（コーポレート）

2030年目標：予算規模5000万/年、のべ3000人/年のTHAスタッフ管理、スポーツ庁ガバナンスコード達成

活動方針に基づく組織改定について

業務量の増加に備え、業務意思決定の迅速化、理事の負担軽減および、
理事会の適正規模化による実効性の向上。理事の多様性確保等
ガバナンスの強化を見据え、経営と業務執行の機能を分化していく。

経営機能（理事会）

中長期視点での経営計画や方針策定

業務執行の監督機能

※詳細検討中

- | | |
|--------------------|-------------------|
| a. 規程、細則の制定・改廃 | g. 審査請求、不服申立、訴え提起 |
| b. 予算の議決 | h. 損害賠償 |
| c. 決算の認定 | i. 検査・監査請求・意見書の提出 |
| d. 事業計画の承認、事業運営の監視 | j. 調査権等 |
| e. 重要な契約の締結 | k. 寄付・贈与收受 |
| f. 財産の取得および処分 | l. 総会に提出する議案の作成 |

業務執行機能

経営計画や方針に則った事業計画

の策定。事業実施予算の策定と執行、

実施体制づくり

- a. 事業計画の策定
- b. 予算の策定
- c. 事業の実施、予算の執行
- d. 部員の選定

2022年度からの業務量の増加について

駒沢 1



年間稼働日：約60日

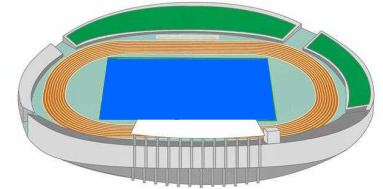
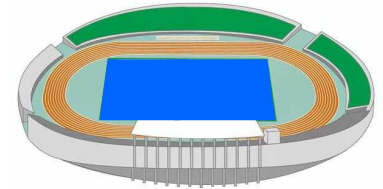
全国大会：15日
(2020年インカレ、HJL)

年間予算規模：約1000万

3倍



大井 & 駒沢 3



5倍超



年間稼働日：のべ**310日**※

5倍超



国際/全国大会：のべ**76日**

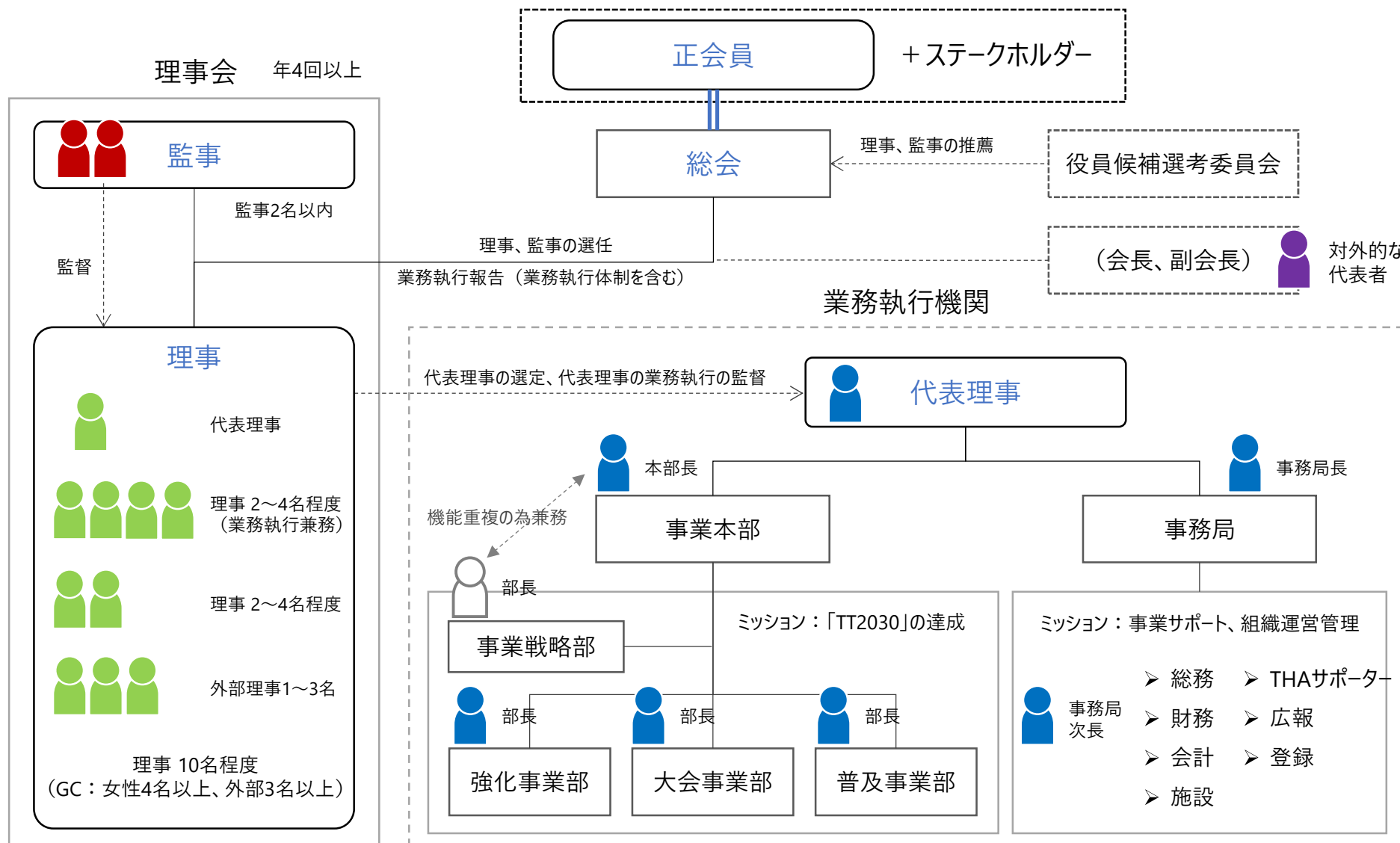
3～5倍



3000万～5000万円

※THA、JHA、HJL、JOC等ホッケーの利用日

2022年度THA組織案

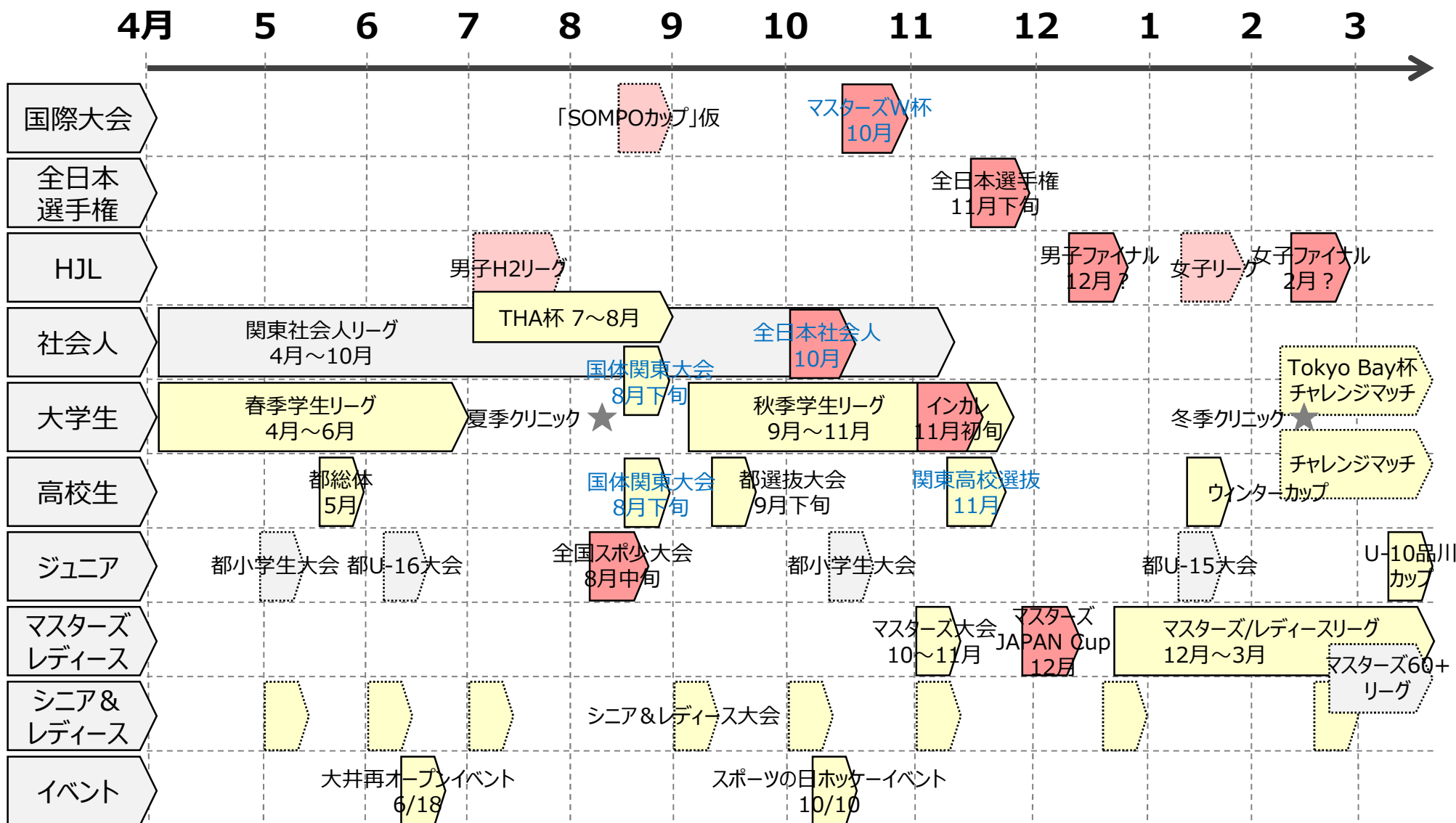


※今後数年かけて上記GC対応を見据える

※業務執行組織、及び業務執行に係わる会議体は理事会の承認を受けて柔軟に設定できる

2022年度の大会開催 ※大井は6/18～

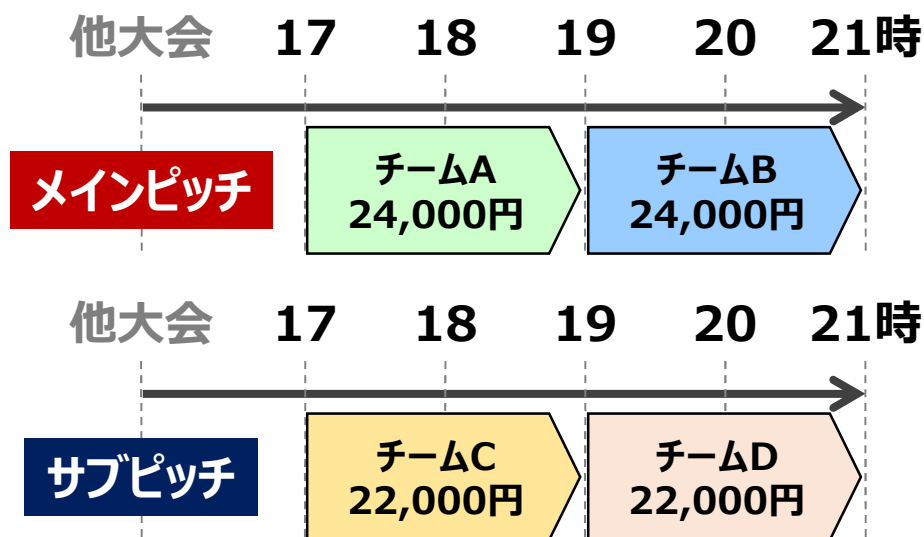
※調整中の大会含む



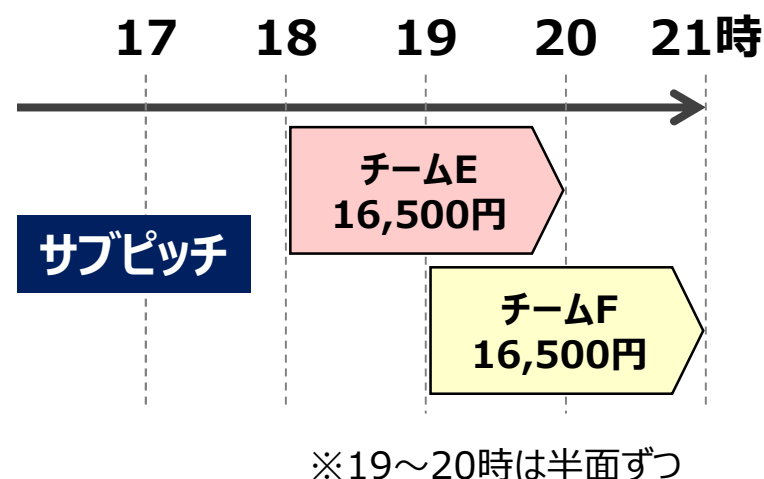
THA正会員チームの大井の利用について

THAチームの夕刻の利用に関して、使用料を以下の金額で予定しています。

【休日（土日祝）】



【平日】 18時から利用可能



夕刻の枠について、施設利用料（THAが東京都に支払う額）は年間約540万円。

全ての枠が稼働した場合、上記使用料の合計は約600万円を見込んでいます。

剰余の10%は、THAの管理経費（枠が埋まらなかった場合のバッファ等）とする予定です。

大井ホッケー競技場利用アンケート（3/2まで）



2022年度大井ホッケー競技場の利用に関するアンケート（3/2締切）

実施主体：一般社団法人東京都ホッケー協会（THA）

回答対象：2021年度THA登録チーム（正会員チーム）

回答期限：2022年3月2日（水）23:59まで ※以降の回答は無効です。

実施目的：

2022年6月18日に再オープンする大井ホッケー競技場メイン（ノース）ピッチ、サブ（サウス）ピッチのTHA正会員チームの利用について各チームの需要を把握し、稼働率を高めるための基礎資料とします。

※本アンケートでお聞きするグラウンドの使用可能時間は、平日、土日祝日の夕刻（17時または18時から21時）のみです。料金やその他前提条件はTHAからのメールをご確認ください。

※本アンケートは、各チームの希望をお聞きするためのもので利用を確約するものではありません。

ご参考）2022年度に予定しているTHAの主催大会（土日祝日の日中想定）

7～8月：THAカップ

12～3月：マスターズ/レディースリーグ

1～3月：THAチャレンジマッチ仮（小中高大学生、社会人の希望チームによるプレシーズンマッチ）

ほか、シニア&レディース大会、高校生大会、ジュニア交流大会などを予定

参考) 東京都の施設運営計画

都は年5,400万円の収入を見込む。(それでも7,000～9,000万円の赤字施設)
初年度は実働9ヶ月＝およそ4,000万円の収入計画としても、うちホッケーで2,500万円程度

「新規恒久施設の施設運営計画（2017/4、都オリパラ準備局）」から抜粋

収支見込みについて

単位：百万円

収入			金額	支出		金額
うち、ホッケー 20百万円？	施設利用料	North	ピッチ	23	人件費	5
			付帯設備	16	光熱水料	58
うち、ホッケー 15百万円？		South	ピッチ	13	業務委託費	50
			付帯設備	2	その他（消耗品費・役務費）	6
ホッケーだけで 3,500万円？					一般管理費	12
					消費税	13
			54			145
収支						△ 92

都は**5,400万円**の収入を見込む

他競技 + 500万程度を足しても
収入見込みを大きく下回る恐れ



平日日中の稼働（マスタース？大学？）
代表チームの合宿利用などを更に検討したい

THA業務担当者を募集します。

現状でも十分とは言えない中、人的リソースの拡充はTHAの死活問題となっています。
広く協力者を募りますので、ホッケーの発展の為お力をお貸してください。

例えば
・
・

大会

現場マネージャ：会場担当、バックオフィス（勤怠管理）、ピッチ担当など
大会ディレクター：主催大会の企画・ディレクション。進行管理、出納

広報

マネージャ：広報企画・運営、SNS発信、HP管理など
撮影スタッフ：主催大会等の撮影（アマチュアカメラマン、愛好家大募集）

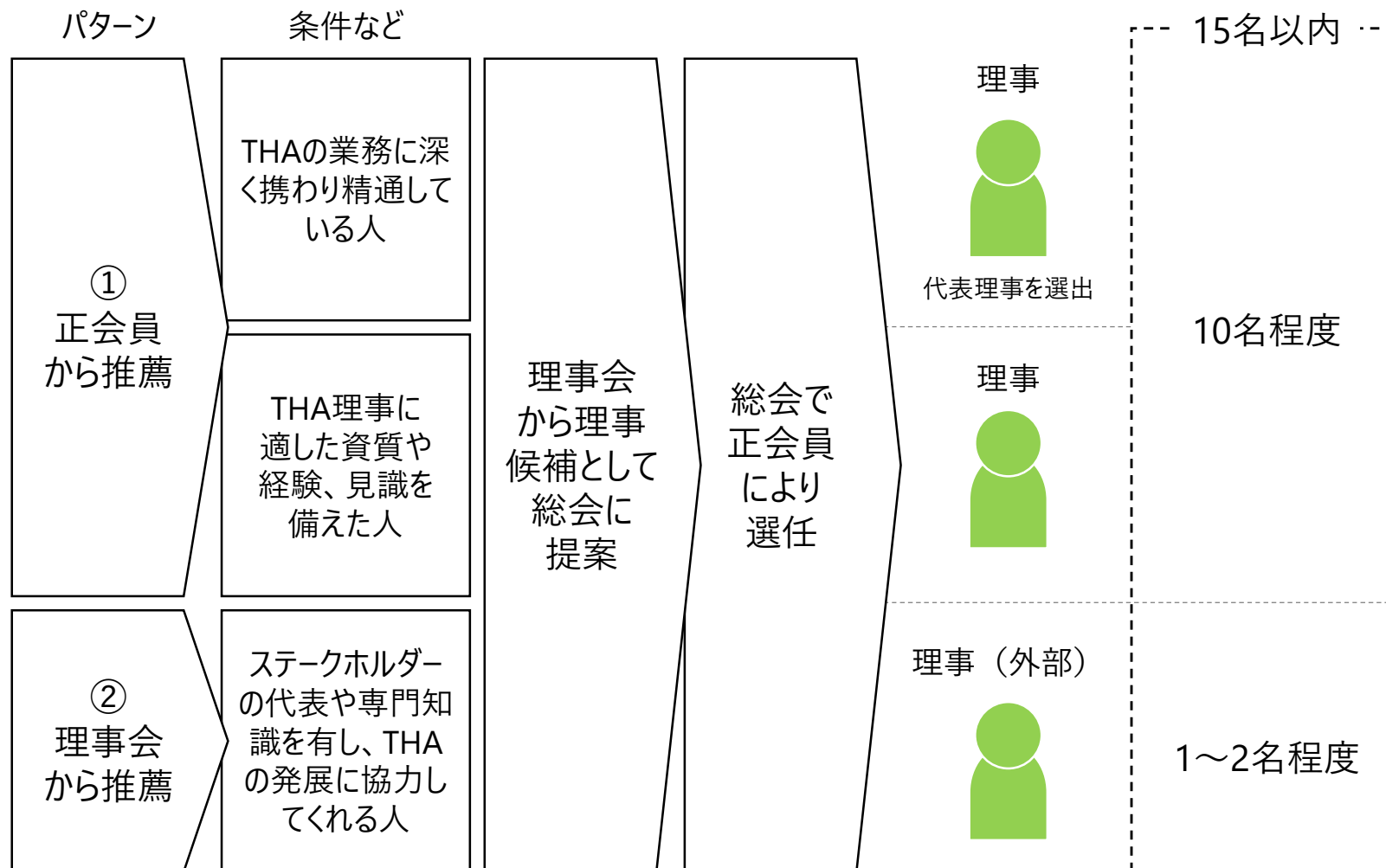
会計ほか

事業会計スタッフ：会計のバックオフィス業務。在宅ワーク可能
THAサポーター担当：リターンの企画と運用 施設利用担当：申請など

上記以外にも、普及や強化のスタッフや、皆様の経験や専門性が活かせる業務があります。
例えば、企業のコンプライアンス部門の経験。SPやイベント会社の経験。営業、マーケ、デザイン。
スポーツボランティア経験。会計士や法律家、看護師などの専門職。外国語など、ご相談ください。

4. 理事・監事の推薦のお願い

理事の推薦について



外部理事とは、最初の就任時点で以下の ア) ～ウ) のいずれにも該当しない者を指す。

ア) 当該団体と下記の緊密な関係がある者

- ・ 過去4年間の間に当該団体の役職員又は評議員であった
- ・ 当該団体と加盟所属関係等にある都道府県協会等の役職者である
- ・ 当該団体の役員又は幹部職員の親族（4親等以内）である

イ) 当該競技における我が国の代表選手として国際競技大会への出場経験がある

又は強化指定を受けたことがあるなど特に高い競技実績を有している者

ウ) 指導するチーム又は個人が全国レベルの大会で入賞するなど当該競技の指導者として

特に高い指導実績を有している者

ア) については、当該団体の何らかの役職（例えば、各種委員会の委員等）に就いている有識者について、これらの専門的知見（例えば、法務、会計、ビジネス等）による貢献を期待して理事として任用している場合には、外部理事として整理することも考えられる。

イ) 及びウ) については、当該理事が競技実績や指導実績を有している者であっても、競技経験に基づく

対象スポーツに関する知見ではなく、当該理事の有するその他の知見（法務、会計、ビジネス等）による貢献を期待して理事として任用している場合には、外部理事として整理することも考えられる。

理事（監事）推薦状

一般社団法人 東京都ホッケー協会
代表理事 和田 明仁 殿

当チームは来る 2022 年 6 月に開催される定期総会の役員改選における
理事候補者として、下記の者を推薦いたします。

氏名 ○○ ○○

推薦理由

略歴 ※出身校とホッケーに関する役職等をご記入下さい。
 ○○○○年○月○○日生まれ
 ○○○○年○月○○日

現在に至る

上記の者を推薦するにあたり被推薦者から承諾を得ております。

2022 年○月○○日

チーム名 _____

代表者 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

2022年3月31日までに
推薦状を送付ください。

2022年度THA正会員登録申込みについて

2022年度

2022 年 月 日

一般社団法人東京都ホッケー協会 正会員登録申込書

この度、一般社団法人東京都ホッケー協会に 登録をいたしたく、
所定事項を記して申請いたします。

一般社団法人東京都ホッケー協会規約を遵守し、ホッケーの健全な発展に貢献することを誓約します。

チーム名		
種別		性別
(ふりがな)		
代表者		
e-MAIL		

* 代表者は文字通りチームを代表する者で、部長若しくは監督を登録してください。

(ふりがな)	
監督	
e-MAIL	

* チーム代表者が監督の場合は、監督名に「代表者」と記載して下さい。

(ふりがな)	
議決権行使者	
e-MAIL	

* 議決権行使者は、THA総会において正会員として議決権を行使する方をいいます。

(ふりがな)	
連絡者	
e-MAIL	
電話番号	

* 連絡者には、THAからの照会に対して直ちに回答できる方を記入してください。

* 電話番号は、繋がりのやすい番号を記入してください。

(ふりがな)	
施設利用責任者	
e-MAIL	
電話番号	

* チームとして都の施設利用にあたり利用責任者となっていただく方です。

* 電話番号は、繋がりのやすい番号を記入してください。

「施設利用責任者」を

追加しています。

大井利用の際の、開場や
閉場の責任者となります。



一般社団法人東京都ホッケー協会
2021年度連絡会

ご清聴ありがとうございました。

2022.2.27